

令和二年度 三重県立伊勢高等学校 入学式 式辞

新型コロナウイルス感染症により、様々な場面で私たちの日常が覆される中であって、季節は歩みを止めることなく、桜の花は見事に咲いて、新入生の高校生活の門出に華をそえてくれています。令和の時代としては初めての入学式を、厳しい状況のもとにありながら、こうして挙行できることを、まずは共に喜びあいたいと思います。保護者の皆様には、お子様が並々ならぬ努力の末に、試練を乗り越え、本校に入学されたことを、心から祝福いたします。

ただ今、入学を許可しました二百八十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんを伊勢高第65期生として心から歓迎します。伊勢高の卒業生は、相手も伊勢高の卒業生だとわかると、必ず「あんた何期や」と尋ねてきます。この一言で、一気に仲間意識が芽生え、太く頼もしい絆が結ばれます。皆さんは、伊勢高の65期生として、今日からこの歴史と伝統に合流し、また新しき流れを作っていくことになります。

さて、皆さんは、新型コロナウイルス感染症拡大の渦中に受検し、例年とは異なる雰囲気の中で中学校を卒業し、また、本日の入学式も期待と同時に不安も抱えながら迎えたことと思います。この先も、「新型コロナの時期に高校生になった世代」というレッテルから逃れることはできないでしょう。しかし、そのことを決してネガティブなイメージでとらえてほしくはありません。このような経験をしたからこそ、他のどの世代よりも命の大切さを知っている、このような経験をしたからこそ、力を合わせて困難を乗り越える強さを持っている、このような経験をしたからこそ、最も多感な時期に自分を見つめる時間がたっぷり与えられ、人間的な深みをもっている、このような経験をしたからこそ、前例にとらわれることなく、自分たちで新しいやりかたを生み出すことができる。皆さんがそんな風に評価される時代が必ずやって来ると信じています。

また、AIが多くの仕事を担い、人には人にしかできない仕事求められるこれからの時代を生き抜くためには、自らの頭で考え、異なる価値観の人と意見を交わし、与えられた条件のなかで、協力してより良い解を求めていく力が必要です。「競い合い、奪い合う」学習から、「学びあい、高めあう」学習へと、学びの姿の変革が図られています。伊勢高校には、優秀な生徒、熱心な教員がそろっています。この恵まれた環境で、3年間で充実して過ごしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様へのお願いです。私たち教職員は、生徒の希望の実現に向けて一丸となって支援して参ります。各ご家庭におかれましても、学校の方針をご理解のうえ、格別のご協力を賜りますようお願いして、式辞といたします。